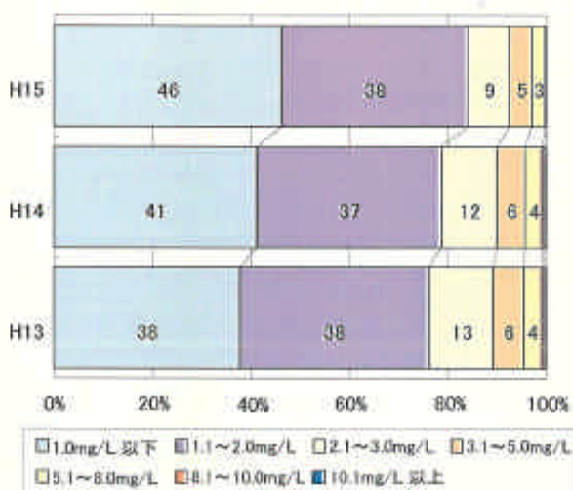


一般の方々による全国水生生物調査の調査結果について

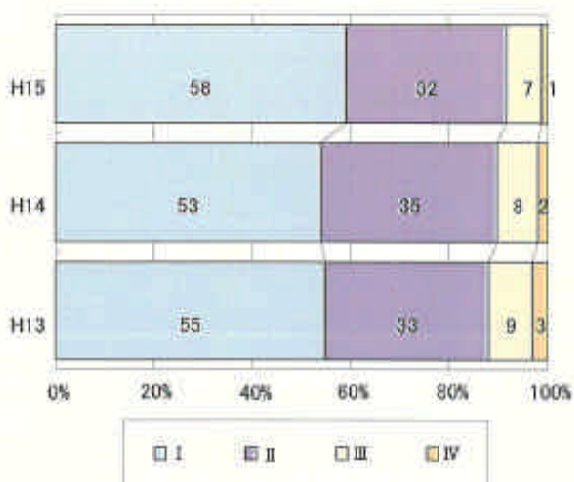
BOD75%値と水生生物調査の経年変化

一級河川について、BOD75%値と水生生物調査結果の経年変化を見ると、BOD75%値の1.0mg/Lと水生生物調査結果のI（きれいな水）が昨年と比較していずれも5%増加しており、改善傾向にあるといえます。

BOD75%値経年変化（一級河川）



水生生物調査結果の水質経年変化（一級河川）

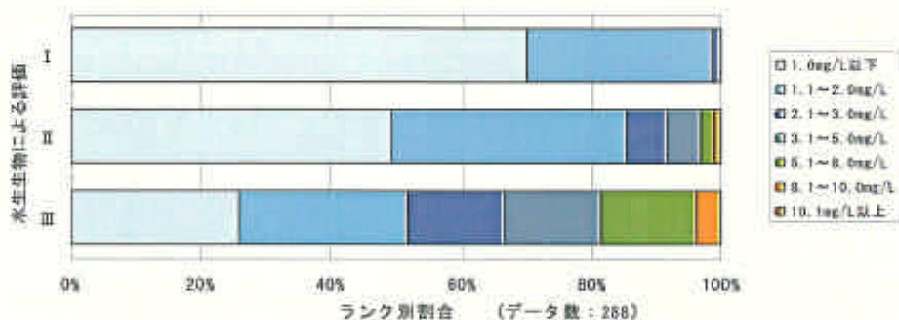


## 水生生物調査とBOD等の他の水質測定項目は同傾向

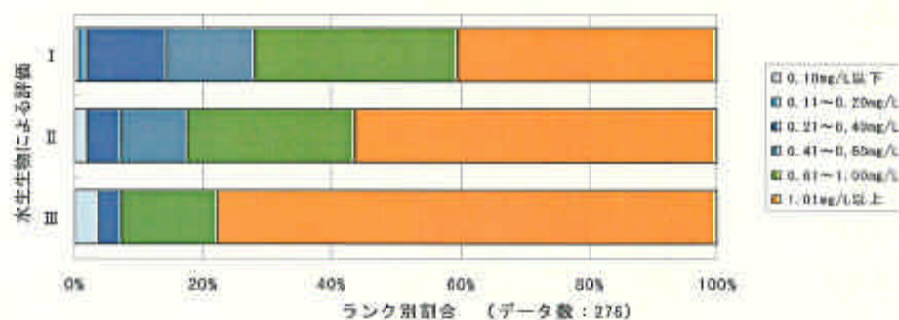
水生生物調査における水質階級毎に同地点で実施したBOD、T-N（総窒素）、T-P（総リン）、NH4-N（アンモニア態窒素）について調査結果の比較を行いました。

この比較では、水生生物調査の水質階級でⅠ（きれいな水）～Ⅲ（きたない水）になるに従い、BOD等の測定濃度も高くなる傾向が見られます。（水生生物調査のランクⅣは同地点での他の観測データが少ないため、比較を行いませんでした。）

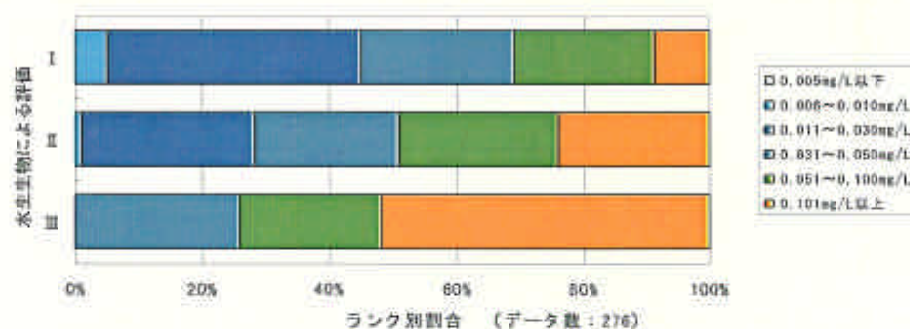
水生生物による評価とBOD(75%値)のランク別割合(H15)



水生生物による評価とT-N(平均値)のランク別割合(H15)



水生生物による評価とT-P(平均値)のランク別割合(H15)



水生生物による評価とNH4-N(平均値)のランク別割合(H15)

